

学生発明コンテストを開催Ⅱ東大

東京大学は、二回目となる「学生発明コンテスト」の表彰式を去る一月七日に行つた。表彰式では、西尾茂文生産技術研究所長による挨拶、石川正俊副学長・産学連携本部長による来賓挨拶後、受賞者に表彰状、楯、副賞が贈呈された。

このコンテストは、学生が発明や知的財産権に対する理解を深めることを目的に、産研・産学連携委員会（委員長・畑中研一教授）と財生産技術研究奨励会（TLO）の主催で企画されたもの。東大の学生を対象に募集し、今回は前回を二件上回る二十二件の応募があった。

本審査は昨年十一月に行われ、発明者の学生によるプレゼンテーションに対する質疑応答の後、発明の新規性・新鮮さ・着想や産業財産権としての価値、技術レベル、発明としての完成度などを基準に

選考が行われた。コンテストは教育の一環であることに加え、書類審査の過程で明らかとなつた先行技術を回避するための工夫、さらには発明の経緯やアピール方法なども評価の対象とした。

今回は、昨年度の第一回コンテストのノウハウをもとに行われただけでなく、産学連携委員会の委員と事務職員、さらには生産技術研究奨励会の職員が一致団結して取り組んだため、運営はスムーズに行われた。さらに、発明に対する評価や先行事例の調査などは、特許を扱う専門家の多



受賞学生と西尾所長、石川副学長ら

大な支援を受けながら遂行された。コンテストの詳細や今後の予定などは同コンテストのホームページ（<http://hatsumei.jp>）で公開している。